

■議案第75号 四万十町汚泥再生処理センター建設工事請負契約の締結について

【要旨】

し尿処理施設「若井グリーンセンター」は、昭和53年4月に供用を開始し、34年が経過したことから老朽化と耐震化への対応が求められています。

このため、平成23年度に総合評価方式による一般競争入札公告を行い、技術提案図書の提案及び審査方針の確認、平成24年度に技術評価点の決定及び入札による価格点の決定を行い、合算した総合評価点により請負業者の決定をいたしました。

総合評価点の最も高い下記事業者と、四万十町汚泥再生処理センター建設工事請負契約の締結について、地方自治法第96条第1項第5号及び四万十町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めようとするものです。

工事請負契約締結内容

工 事 名	四万十町汚泥再生処理センター建設工事
工 事 場 所	四万十町 若井 地内
契 約 金 額	1,454,250,000円 (内消費税 69,250,000円)
契約の相手方	アタカ大機・三浦建設特定建設工事共同企業体 代表者住所 大阪市此花区西九条5丁目3番28号 代表者氏名 アタカ大機株式会社 取締役社長 小川 泰雄
工 期	議決日の翌日から平成26年3月31日
工 種	建設工事一式
事 業 量	処理規模 計画処理量 44 kℓ (し尿:26 kℓ 浄化槽汚泥:15 kℓ) 処理方式 1) 水処理方式 膜分離高付加脱窒素処理方式+高度処理 2) 資源化方式 リン回収 及び 助燃剤化方式(脱水汚泥含水率70%以下) 放流量 88 m ³ /日以下 (2.0Q以下) 【共同企業体保証値 55.4 m ³ /日 (1.26Q)】

【総合評価方式で実施した理由】

平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされるよう公共工事の品質確保のための主要な取り組みとして総合評価方式の導入が規定されています。

また、平成18年7月には環境省から「廃棄物処理施設建設工事の入札・契約の手引き」により、汚泥再生処理施設は、性能や品質、水処理技術の独自性等、「価格」の他に「価格以外の条件や要素」を評価の対象に加えて、総合的に評価し、最も優れた者を落札者とする方式（総合評価方式）による発注方式に改善するための技術的助言が示されているところです。

【総合評価方法】

別添の四万十町汚泥再生処理センター建設工事落札者決定基準による。

【総合評価方式に係る選定の経緯】

	事 由	備考
平成23年10月20日	第1回審査会（入札説明書(案)、様式集(案)審査決定)	
平成23年11月2日	総合評価方式による一般競争入札の公告 (入札説明書・様式集の公表)	
平成23年11月8日から 平成23年11月9日まで	入札説明書類に関する質疑受付（第1回）	
平成23年11月11日	入札説明書類に関する質疑回答（第1回）	
平成23年11月9日 平成23年11月16日	参加表明書及び参加資格審査申請書の受付 5社参加資格申請	
平成23年11月28日	第2回審査会（落札者決定基準(案)、技術提案仕様書(案)等の審査決定)	
平成23年11月29日	参加資格審査結果の通知	
平成23年11月30日	入札説明書類（落札者決定基準、技術提案仕様書等）の公表 予定価格の公表	
平成23年12月6日から 平成23年12月7日まで	建設予定地現地説明会の実施	
平成23年12月5日から 平成23年12月9日まで	入札説明書類に関する質疑受付	
平成23年12月21日	入札説明書類に関する質疑回答（第2回）	
平成24年2月24日	技術提案図書提出期限	
平成24年3月28日	第3回審査会（技術提案評価採点方針の確認）	

平成 24 年 4 月 9 日	入札辞退 1 社	
平成 24 年 4 月 17 日から 平成 24 年 4 月 18 日まで	第 4 回審査会 技術提案ヒアリング・評価点の決定	
平成 24 年 4 月 18 日	入札 価格点の決定	
平成 24 年 4 月 18 日	総合評価点による優秀提案の選定	
平成 24 年 4 月 23 日	落札者の決定	